

		対象者数	実施件数	実施率
西部	全体	2,193	1,350	62%
	75歳以上のみ世帯	1,065	685	
	75歳以上単身	1,128	665	
	85歳以上のみ世帯	(214)	(0)	
東部	全体	2,895	1,096	38%
	75歳以上のみ世帯	1,509	0	
	75歳以上単身	1,386	1,096	
	85歳以上のみ世帯	(196)	(0)	
多摩センター	全体	2,616	693	26%
	75歳以上のみ世帯	1,498	175	
	75歳以上単身	1,118	518	
	85歳以上のみ世帯	(162)	(2)	
中部	全体	3,849	3,499	91%
	75歳以上のみ世帯	2,131	1,942	
	75歳以上単身	1,718	1,557	
	85歳以上のみ世帯	(320)	(264)	
北部	全体	2,956	1,833	62%
	75歳以上のみ世帯	1,426	881	
	75歳以上単身	1,530	952	
	85歳以上のみ世帯	(294)	(62)	
全体		14,509	8,471	58%

※85歳以上のみ世帯は75歳以上のみ世帯にも含まれるため対象者合計からは除外する
【対応内訳】

	情報提供・状況把握 等を行った	継続した見守りが 必要と判断	連絡の結果訪問が 必要と判断	合計
西部	1,347	1	2	1,350
	99.8%	0.1%	0.1%	
東部	1,093	3	0	1,096
	99.7%	0.3%	0.0%	
多摩センター	692	0	1	693
	99.9%	0.0%	0.1%	
中部	3,499	0	0	3,499
	100.0%	0.0%	0.0%	
北部	1,833	0	0	1,833
	100.0%	0.0%	0.0%	
全体	8,464	4	3	8,471
	99.9%	0.05%	0.04%	

【担当内訳】

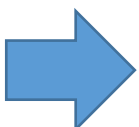
	包括	民生委員	見守り相談窓口	合計
西部	746	604		1,350
	55.3%	44.7%		
東部	329	767		1,096
	30.0%	70.0%		
多摩センター	219	474		693
	31.6%	68.4%		
中部	3,084	111	304	3,499
	88.1%	3.2%	8.7%	
北部	1,185	648		1,833
	64.6%	35.4%		
全体	5,563	2,604	304	8,471
	65.7%	30.7%	3.6%	

【安否確認手法】

	包括	民生委員 (見守り相談窓口)	その他
西部	民生委員不在地区を中心にポスティングを行いつつ、関わりのある方については電話で状況把握。	電話番号がわかる方については電話で状況把握。 その他はポスティング。	・ポスティングの際に独自のファイルを使い目立つように工夫 ・新たに支援に繋がったケースは3件。 (民：2件、包：1件)
東部	・75歳以上単身者を中心 ・民生委員不在地区を中心にポスティングを行いつつ、関わりのある方については電話で状況把握。	・75歳以上単身者を中心 ・電話番号がわかる方については電話で状況把握。 その他はポスティング。	・基本的に民生委員が中心に取り組み実績の70%を占めた ・新たに支援に繋がったケースは3件。 (民：3件)
多摩	・75歳以上単身者を中心 民生委員不在地区を中心にポスティングを行いつつ、関わりのある方については電話で状況把握。	・75歳以上単身者を中心 ・電話番号がわかる方については電話で状況把握。 その他はポスティング。	・基本的に民生委員が中心に取り組み実績の70%を占めた ・調整に時間がかかった関係で実績は26%にとどまった。 ・新たに支援に繋がったケースは1件 (包：1件)。
中部	ポスティングをほぼ全ての対象者に対して行う。	担当地区を中心にポスティング。	・電話・訪問等の状況確認はほぼせず、ポスティングを中心に行った。 ・一部状況確認は関わっているケースで訪問の際に行った。
北部	民生委員不在地区を中心にポスティングを行いつつ、関わりのある方については電話で状況把握。	電話番号がわかる方については電話で状況把握。 その他はポスティング。	・独自のパンフレットを作成し活用。センターの周知と共に、コロナ禍の中での日常生活の留意点など普及啓発した。 ・新規で支援につながったケースは無し。

【事業実施から分かったこと】

- ・75歳以上の高齢者独居及びのみ世帯でも対象者はかなりの数であるため、個別に状況を確認していくのはなかなか難しい。介護保険の情報や障害手帳の情報などを合わせるなどし、優先順位をつけていかなければ効果的な支援は難しい。
- ・ポスティングは情報提供としては有効だが、そこから支援につながる可能性は低いため、平時から情報収集し、何かあったときその情報を活かして支援できるようにすることが重要である。
- ・何かのサービスにつながっているケースについては、サービスが継続しており外出自粛等の影響がやや少ないが、サービス等につながっていないケースなどでは、ろれつが回らなくなってきているなどフレイルの進行が顕著な場合がある。
- ・事業実施により包括と民生委員の情報のやり取りが促進され、連携を深めることができた。



今回の取組の成果・反省を活かしていくために、災害時等時間が限られてくることが想定する中で、効率的・効果的な支援を行うことができるよう、状況確認が必要な人のリストを整理・配布し、平時から民生委員等と情報共有を行うなど、情報収集に努めておく必要がある。